



合志の旋風 ～自律協働貢献～

令和8年9月18日（金）No 19 発行
文責：松本 卓也

確かな学力の育成に向けて Part2 ～家庭学習のススメ～

今週 15 日（火）から 17 日（木）までの 3 日間、前期期末テストを行いました。学習委員会が中心となってテスト計画の作成を呼びかけ、合志タイムで見取りを行ってきました。当日は、休み時間にも教科書やノートを見直したり、友人と問題を出し合ったりする姿がみられる等、子どもたちは意欲的に取り組んでいました。4 月 14 日（火）に実施した「合志市学力・学習状況調査」の質問紙調査（i-Check）には、「生活・学習習慣」に関する質問があります。子どもたちの回答結果は、次の通りです。



カテゴリー	質問	1 年 結果・比較	2 年 結果・比較	3 年 結果・比較
【生活習慣】	朝は自分で起きてますか	△	△	△
【生活習慣】	朝食は毎日食べていますか	△	△	△
【生活習慣】	平日（月～金）は、何時ごろねますか ※ 12 時過ぎと回答した生徒の割合	△	△	△
【生活習慣】	平日（月～金）、1 日どれくらいの時間、テレビや 動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲーム をしたりしますか ※ 4 時間以上と回答した生徒の割合	△	△	▼
【学習習慣】	学校の授業以外で週に何日くらい勉強していますか ※ ほぼ毎日と回答した生徒の割合	▼	▼	▼

※「結果」欄：全国肯定値に対し、「プラスを△、同等を＝、マイナスを▼」で表示

※「比較」欄：昨年 12 月実施の「熊本県学力・学習状況調査」と比較し、「上昇を↑、下降を↓」で表示

「生活習慣」のカテゴリーにおいては、肯定的な回答が多くみられました。なかでも、「平日（月～金）は、何時ごろねますか」の質問に対して 12 時過ぎと回答した生徒の割合は、全国値に対して 2/3 と低く、早寝早起きの習慣が概ね身につけていることがわかりました。反面、「学習習慣」に関しては、ほぼ毎日と回答した生徒の割合は全国値の 1/2 と、家庭学習の習慣化に大きな課題があることもわかりました。原因の一つに、動画視聴や SNS・ゲームの利用等、メディアの長時間使用が考えられます。学習習慣の形成には、保護者の皆様の側面からの支援（ペースメーカー・サポーター・ファシリテーター）が不可欠です。ICT 機器の適切な使い方について、ご家庭でも話題にいただければ幸いです。

連携

学校

家庭

【授業と家庭学習をつなげる】

- 授業中に家庭学習につながる声かけをしたり、学習内容等を示したりする。
- 生徒自身が更なる問い（もっとやってみよう）を見つけられるような声かけを行う。
- 学校で、その日の学習内容について計画を立てさせる。（合志タイム）
- 【やる気を引き出す】
- 個に応じた家庭学習を出す。（e ライブラリ）
- 頑張りを認める。次につながるアドバイスをする。



「家庭ではどのようなことをすればいいか？」方法や内容等を具体的に支援

引用：「熊本の学び推進プラン」
家庭学習のポイント（学校編）
熊本県教育委員会



【ペースメーカー】

- 学習を促したり、生活環境を整えたりすることで、規則正しい学習や生活の習慣形成を支援する。
- 【サポーター】
- 子どもが学習から逃げたくなったり、自信をなくしたりしたときに、アドバイスしたり話し相手になったりして、心の支えになる。
- 【ファシリテーター】
- 教材の準備や学習スペースの確保、静寂な時間の保障などの条件整備を通して、良好な学習環境を構成する。



家庭学習の効果を高める学習環境等、側面からの支援

引用：「家庭学習を習慣化することで育つ
自己マネジメント力を生涯の宝に」
田中博之 早稲田大教職大学院教授
VIEW21 小学版 2013 Vol.3

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）